

各位

第13回「日本新薬こども文学賞」 最優秀賞作品決定

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信 以下、当社）は、第13回「日本新薬こども文学賞」において、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む16点の入賞作品を決定しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て、当社創立90周年にあたる2009年に創設したものです。

13回目となる今回は、昨年11月から今年2月まで物語と絵画を募集し、全国から物語1,133点、絵画218点の作品が寄せられました。



絵画部門最優秀賞

「ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ」

[画像のダウンロードはこちら](#)

応募作品は、絵本作家の山本省三氏、かさいまり氏、京都精華大学名誉教授の坪内成晃氏、小児科医の細谷亮太氏他3名、計7名からなる審査員によって厳正に審査され、物語部門最優秀賞は、諫見公与（PN:きみきみよ）さん（55歳：福岡県在住）の「もりのぶらんこ」が、絵画部門最優秀賞には、くまのひでのぶさん（36歳：岐阜県在住）の「ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ」が選ばれました。

絵画部門では、本審査とは別に、当社の社員による投票を実施し、なかいかおりさん（32歳：東京都在住）の「ほんをひらけば」、パターソン楓（ぱたーそんれん）さん（4歳：東京都在住）の「ハンバーガーを持って電車でおでかけ」の2点を「日本新薬特別賞」として選出しました。

当社では、最優秀賞を受賞した物語をもとに、絵画部門の最優秀賞を受賞した、くまのひでのぶさんが絵をつけた絵本2万冊を制作し、今年10月の完成を目指します。

出来上がった絵本は、全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広く子どもたちのもとに届けられるほか、当社のWEBサイトでも閲覧できる予定です。

第13回「日本新薬こども文学賞」受賞作品一覧

物語部門および絵画部門の各入賞作品および作家は、以下の通りです。

【物語部門最優秀賞】諫見 公与（PN：きみ きみよ）『もりのぶらんこ』
実際に会ったこともない、会うことができない環境で生きるもの同士が、顔を合わさずに友だちになっていくことがテーマの物語です。心あたたまる作品で各選考委員からも絶賛され、最優秀賞を受賞しました。

【絵画部門最優秀賞】くまの ひでのぶ『ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ』
見る側それぞれに自由なイメージを喚起している、抽象性の高い温かい世界をもった作品です。

部門	賞	作品名	氏名/ペンネーム
物語部門	最優秀賞	もりのぶらんこ	諫見 公与/きみ きみよ
	優秀賞（大人の部）	学校なんか大嫌い	知鬼 遊仁
	佳 作（大人の部）	あまやどり	たかさき 京子
		はらぺこランドセル	立岩 由子
	優秀賞（こどもの部）	亜美の大切な文房具	野口 結実菜
	佳 作（こどもの部）	対決！まおうG	高岩 恭子
		へびぼう	東條 樹
絵画部門	最優秀賞	ぼくらの祈りと願い、 それはせかいを奏でる詩なんだよ	くまの ひでのぶ
	優秀賞（大人の部）	あかり屋	のむら うこ
	佳 作（大人の部）	森のダンスステージ	佐藤 美千子
		かくれんぼ	柳野 いこ
	優秀賞（こどもの部）	わたしのピアノ	安岡 美織
	佳 作（こどもの部）	虹をわたって宇宙に行きたい	伊神 拳一郎
		赤ちゃんから育てたちょうちょ	木下 芹華
	日本新薬特別賞	ほんをひらけば	なかい かおり
		ハンバーガーを持って 電車でおでかけ	パターソン 楓

以上